

因島業界動向

2023年4月～6月

(令和5年4月～6月)

因島商工会議所

調査の概要

1. 調査方法 FAX送信・オンライン回答によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和5年6月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和5年7月～9月の先行き見通し
3. 調査時期 6月初旬～下旬
4. 調査対象 53社(製造業:17社 非製造業:36社)
5. 回収状況 38社(製造業:13社 非製造業:25社)※内オンライン回答 12社
回答率 71.7%

DI:各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI=(増加・好転など「良い」の回答割合)－(減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格:DI=(下降)－(上昇)

製品・商品在庫:DI=(不足)－(過剰)

1. 【因島経済動向調査(DI方式) 報告】

～因島景況の総括 令和5年6月期～

全業種DI(良い－悪い)は、▲34(前回調査▲28、R4.6月調査▲26)で前回調査から比較すると▲6ポイントとなった。製造業では、造船・同関連:0(前回調査+25)で前回調査比▲25。その他機械金属:0(前回調査+20)、食品等▲50(前回調査▲21)で、製造業DIは ▲23(前回調査 0、R4.6月調査▲17)と▲23ポイントとなった。

非製造業では、建設業:▲25(前回調査▲20)、卸売業:▲67(前回調査▲67)、小売業:▲40(前回調査▲75)、運輸・サービス業:▲30(前回調査▲37)で、非製造業DIは▲40(前回調査▲48、R4.6月調査▲33)で前回調査より+8ポイントとなった。

【製造業】

業界全体的な公共工事の発注数減少が顕著に見られ、土木関係は大幅な業況悪化。造船関連業種において、船主の建造意欲の減少や中国での鋼材値下がりによる低船価受注が行われている為、国内受注は厳しい状態である。

【非製造業】

ホテル業界では4年ぶりの制限のないGWとなり大幅に好転。飲食業種は海産物の不漁による商品提供量の不足や、地域住民・観光客等の取り込みが行えず悪化。

【令和5年6月期 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.6月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	11%	44%	45%	▲ 34.0
(前回)	10%	52%	38%	▲ 28.0
(前年同月)	8%	58%	34%	▲ 26.0
製造業(当月)	15%	47%	38%	▲ 23.0
(前回)	19%	62%	19%	0.0
(前年同月)	12%	59%	29%	▲ 17.0
非製造業(当月)	8%	44%	48%	▲ 40.0
(前回)	4%	44%	52%	▲ 48.0
(前年同月)	5%	57%	38%	▲ 33.0

【令和5年7月～9月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI(良い－悪い)は▲31(前回月調査▲10、R4.6月調査▲21)と前回調査から▲21ポイントの見通しである。製造業では、造船・同関連:0(前回調査+50)と▲50ポイント、機械金属:0(前回調査+20)、食品等▲17(前回調査▲29)で、製造業DIは▲7(前回調査 +6、R4.6月調査 0)で▲13ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲50(前回調査▲40)、卸売業:▲50(前回調査▲16)、小売業:▲40(前回調査▲75)、運輸・サービス業:▲40(前回調査+12)で、非製造業DIは▲44(前回調査▲22、R4.6月調査▲38)で▲22ポイントの見通しである。

【令和5年7月～9月の先行き見通し 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.6月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	8%	53%	39%	▲ 31.0
(前回)	18%	54%	28%	▲ 10.0
(前年同月)	8%	63%	29%	▲ 21.0
製造業(当月)	8%	77%	15%	▲ 7.0
(前回)	25%	56%	19%	6.0
(前年同月)	12%	76%	12%	0.0
非製造業(当月)	8%	40%	52%	▲ 44.0
(前回)	13%	52%	35%	▲ 22.0
(前年同月)	5%	52%	43%	▲ 38.0

～因島生産額・売上の総括 令和5年6月期～

全業種DI(良い－悪い)は▲16(前回月調査▲12、R4.6月調査▲23)で▲4ポイントとなった。

製造業では、造船・同関連: +100(前回調査+75)、機械金属:▲25(前回調査+20)、食品等▲33(前回調査 0)で、製造業DIは 0(前回調査+25、R4.6月調査▲17)で▲25ポイントとなった。

非製造業では、建設業:▲25(前回調査▲40)、卸売業:▲67(前回調査▲50)、小売業:▲40(前回調査▲50)、運輸・サービス業: +10(前回調査▲25)で、非製造業DIは▲24(前回調査▲39、R4.6月調査▲24)で、前回調査から+15ポイントとなった。

【製造業】

原材料高騰による価格転嫁について、状況は業種によりバラつきはあるが、価格転嫁が追い付いていない業種は軒並み収益悪化となった。為替では円高化が徐々に進んでおり、為替差益が減少している中、造船関連では前回調査より好転しているが、費用削減要求もあり今後の売上確保は芳しくない。

【非製造業】

業界全体的に仕入額は上昇しているが、売上はコロナ5類以降に伴いサービス業を中心に前回調査より改善。公共工事や民間工事は島外からの事業者流入等により受注減。木材卸売業は業況悪化により売上大幅減となった。

【令和5年6月期 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.6月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	26%	32%	42%	▲ 16.0
(前回)	26%	36%	38%	▲ 12.0
(前年同月)	16%	47%	37%	▲ 21.0
製造業(当月)	38%	24%	38%	0.0
(前回)	44%	37%	19%	25.0
(前年同月)	18%	47%	35%	▲ 17.0
非製造業(当月)	20%	36%	44%	▲ 24.0
(前回)	13%	35%	52%	▲ 39.0
(前年同月)	14%	48%	38%	▲ 24.0

【令和5年7月～9月の先行き見通し】

全業種DI(良い－悪い)は▲29(前回月調査 +15、R4.6月調査▲3)で前回調査より▲44ポイントの見通しである。

製造業では造船・同関連:0(前回調査+75)、機械金属: +25(前回調査+20)、食品等▲50(前回調査▲29)で製造業DIは▲15(前回調査 +12、R4.6月調査 +12)で前回調査より▲27ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲50(前回調査▲60)、卸売業:▲33(前回調査+17)、小売業:▲20(前回調査+100)、運輸・サービス業:▲40(前回調査+25)で非製造業DIは▲36(前回調査 +17、R4.6月調査▲14)と前回調査より▲53ポイントの見通し。

【令和5年7月～9月の先行き見通し 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.6月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	18%	35%	47%	▲ 29.0
(前回)	38%	39%	23%	15.0
(前年同月)	21%	55%	24%	▲ 3.0
製造業(当月)	23%	39%	38%	▲ 15.0
(前回)	31%	50%	19%	12.0
(前年同月)	24%	64%	12%	12.0
非製造業(当月)	16%	32%	52%	▲ 36.0
(前回)	43%	31%	26%	17.0
(前年同月)	19%	48%	33%	▲ 14.0

2. 【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項目 年月		残 高 合 計					
		預 金	前年 同月比	貸出金	前年 同月比	預貸率	前年 同月差
R 4 年 度 末		137,023	99.5%	53,395	100.5%	39.0%	0.4
5 年 度	第1/四期末	139,259	99.4%	54,844	103.4%	39.4%	1.5

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。

(因島金融懇談会調)

※第1四期は5月末時点の暫定値

3. 【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項目 年月		倒 産 件 数		負 債 総 額		備 考
		件 数	前年 比 (%)	金 額	前年 比 (%)	
R 4 年 度 総 数		合 計	1.0	100	531.0	年度計
5 年 度	第1/四期末	0	0.0	0	0.0	

(㈱東京商工リサーチ広島支社調)

4. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位:人、倍)

項目 年月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前年 比 (%)	人 数	前年 比 (%)	倍 率	前 年	
R 4 年 度 平 均		3,052	102.9%	1,848	88.2%	1.68	1.68	
5 年 度	第1/四期末	2,619	92.5%	2,088	98.3%	1.25	-0.08	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。

(ハローワーク尾道調)

※第1四期は5月末時点の暫定平均値

5. 【経営改善資金推薦状況】

(単位:件、万)

年 月	項 目	推 薦					決 定			
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金 額	前年比 (%)
令和4年度		18	81.8	10,580	51.7	8,360	2,220	14	9,920	48.0
5年度	第1/四期末	4	100.0	2,200	74.1	1,750	450	3	1,250	48.6

※件数、金額は集計時以降変動する可能性がございます。

(因島商工会議所調)

※令和5年度の決定件数は、令和4年度3月下旬推薦分が2件含まれています。

6. 【因島商工会議所会員数】

(単位:者、社)

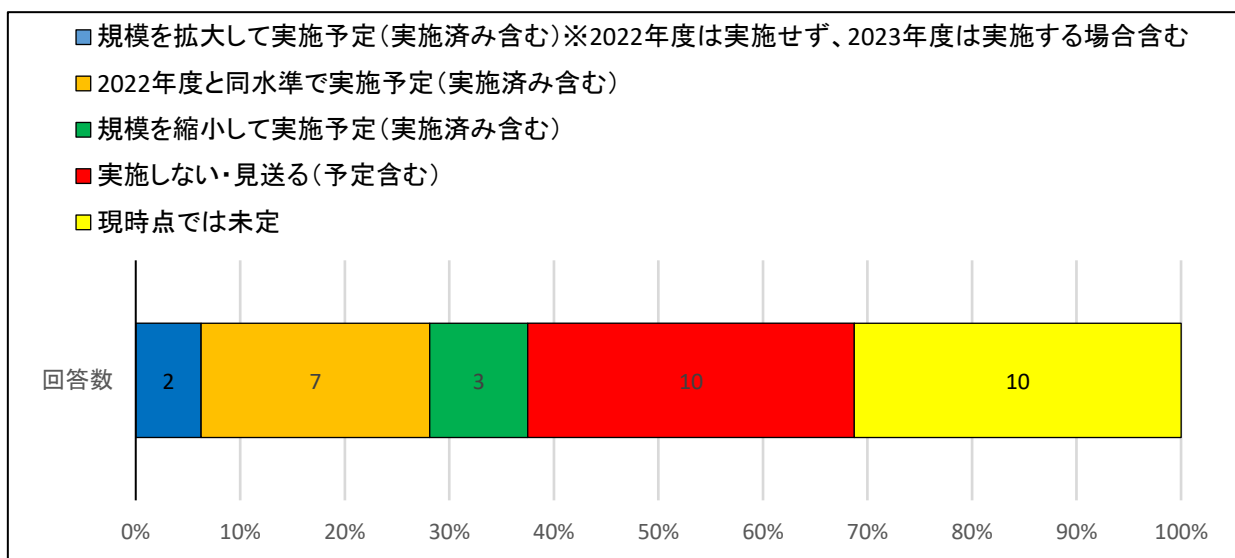
区 分	3月31日現在 会 員 数	新規 会員数	脱退者数	6月30日現在 会 員 数
法 人	478	1	8	471
個 人	440	5	6	439
合 計	918	6	14	910

※注:組織変更含む

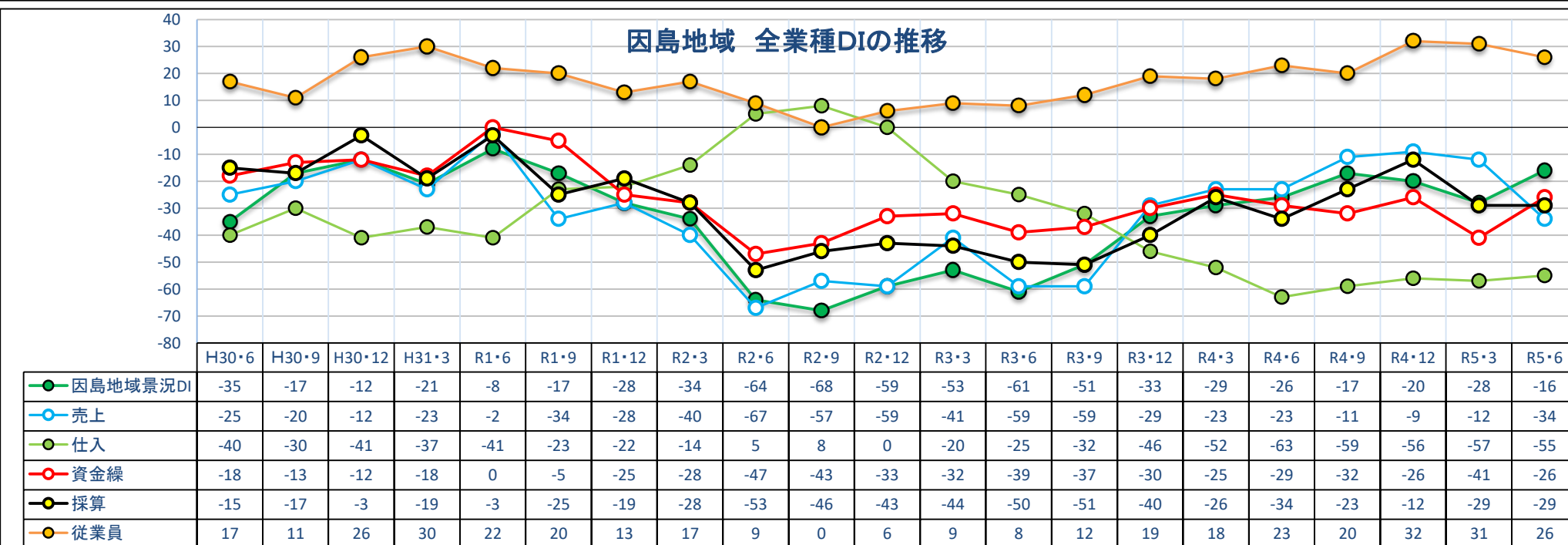
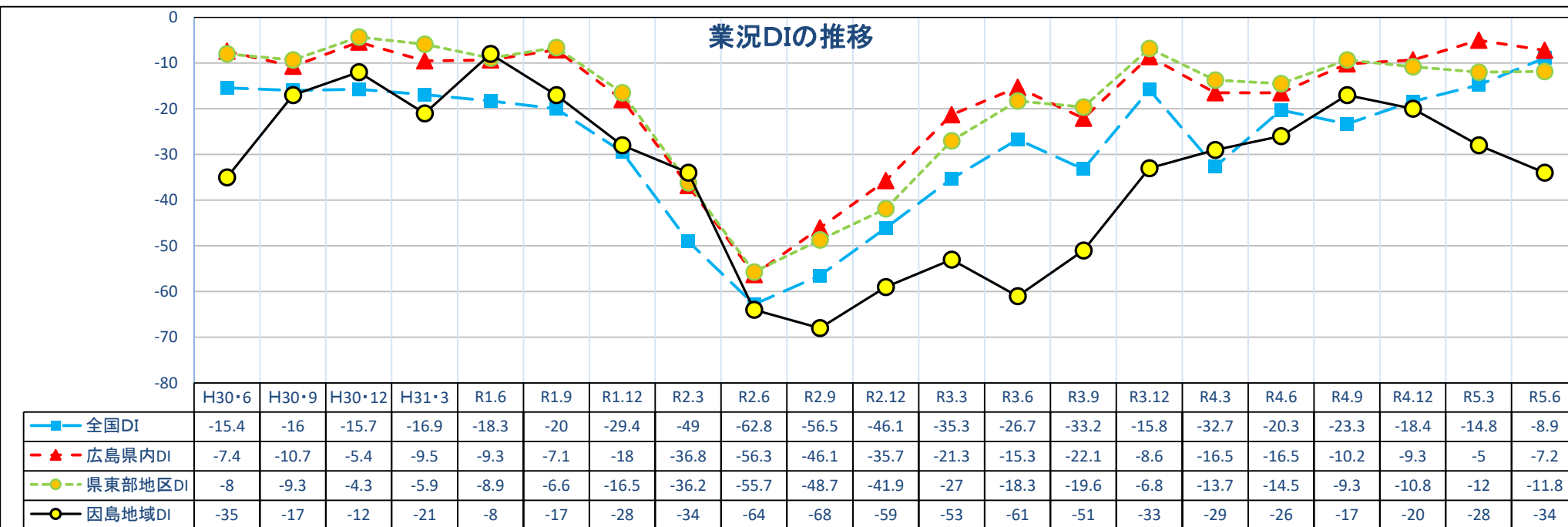
7. 【今期のアンケート調査結果】

回答件数:32件

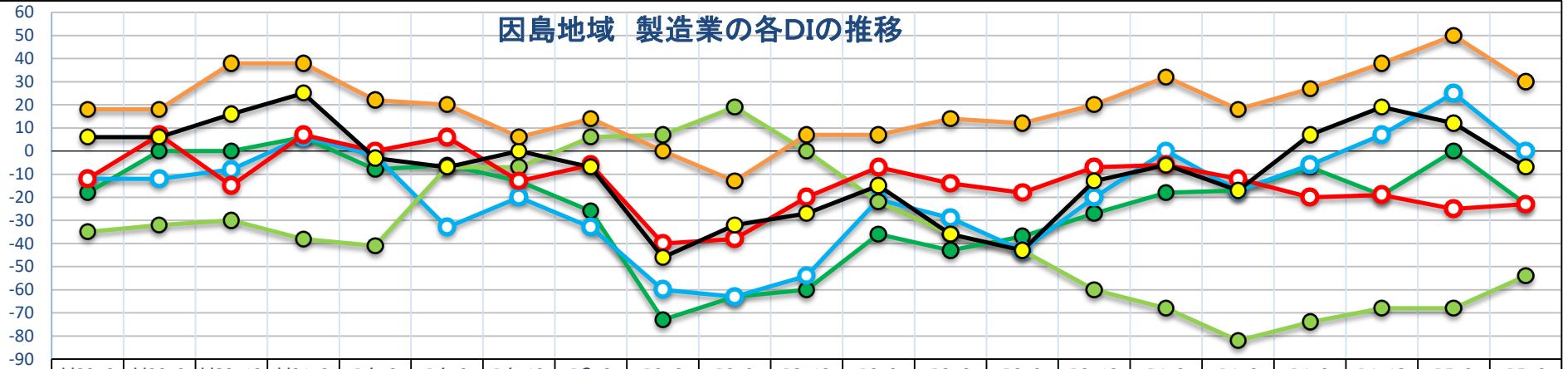
◆アフターコロナに伴う経済活動の活性化や、原材料・エネルギー価格の高騰等を受け、2023年度の各事業所における前年を比較した場合の設備投資の状況について調査を実施したところ、回答事業所の約3分の1が【実施予定】の回答となり、前年の7社から12社へと増加した。日本全体的な従業員不足の中、業務効率化や販路拡大に向けた設備投資がエリア内でも実施され始めた事が顕著に現れた結果となった。



8.【因島業界動向 概況】

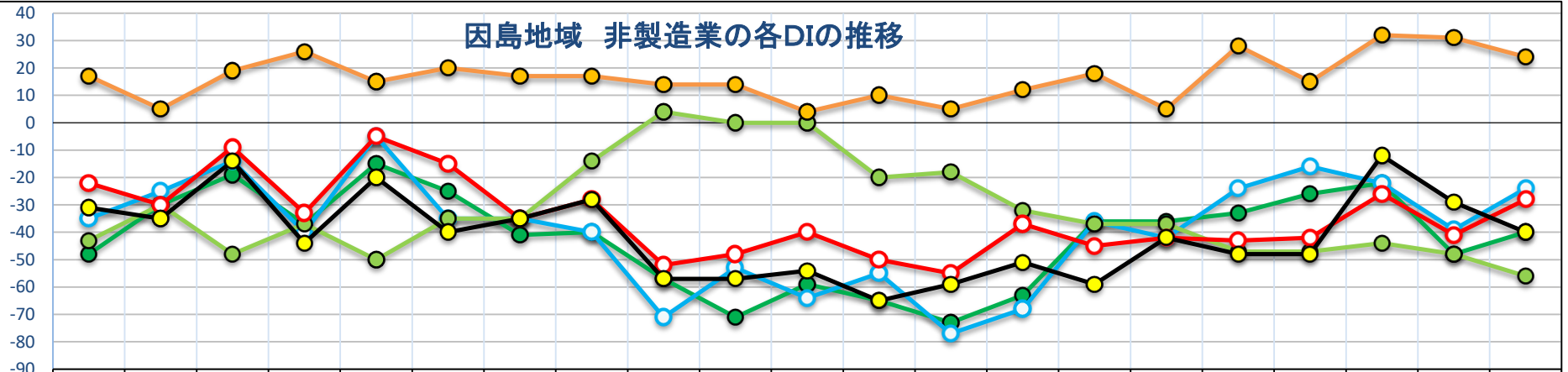


因島地域 製造業の各DIの推移



	H30*6	H30*9	H30*12	H31*3	R1*6	R1*9	R1*12	R2*3	R2*6	R2*9	R2*12	R3*3	R3*6	R3*9	R3*12	R4*3	R4*6	R4*9	R4*12	R5*3	R5*6
● 製造業 景況	-18	0	0	6	-8	-6	-13	-26	-73	-63	-60	-36	-43	-37	-27	-18	-17	-7	-19	0	-23
● 売上	-12	-12	-8	6	-2	-33	-20	-33	-60	-63	-54	-21	-29	-43	-20	0	-17	-6	7	25	0
● 仕入	-35	-32	-30	-38	-41	-7	-7	6	7	19	0	-22	-36	-43	-60	-68	-82	-74	-68	-68	-54
● 資金繰	-12	7	-15	7	0	6	-13	-6	-40	-38	-20	-7	-14	-18	-7	-6	-12	-20	-19	-25	-23
● 採算	6	6	16	25	-3	-7	0	-7	-46	-32	-27	-15	-36	-43	-13	-6	-17	7	19	12	-7
● 従業員	18	18	38	38	22	20	6	14	0	-13	7	7	14	12	20	32	18	27	38	50	30

因島地域 非製造業の各DIの推移



	H30*6	H30*9	H30*12	H31*3	R1*6	R1*9	R1*12	R2*3	R2*6	R2*9	R2*12	R3*3	R3*6	R3*9	R3*12	R4*3	R4*6	R4*9	R4*12	R5*3	R5*6
● 非製造業 景況	-48	-30	-19	-37	-15	-25	-41	-40	-57	-71	-59	-65	-73	-63	-36	-36	-33	-26	-22	-48	-40
● 売上	-35	-25	-14	-40	-5	-35	-35	-40	-71	-53	-64	-55	-77	-68	-36	-42	-24	-16	-22	-39	-24
● 仕入	-43	-30	-48	-37	-50	-35	-35	-14	4	0	0	-20	-18	-32	-37	-37	-47	-47	-44	-48	-56
● 資金繰	-22	-30	-9	-33	-5	-15	-35	-28	-52	-48	-40	-50	-55	-37	-45	-42	-43	-42	-26	-41	-28
● 採算	-31	-35	-14	-44	-20	-40	-35	-28	-57	-57	-54	-65	-59	-51	-59	-42	-48	-48	-12	-29	-40
● 従業員	17	5	19	26	15	20	17	17	14	14	4	10	5	12	18	5	28	15	32	31	24